



社会福祉法人 亀天会

平成 30 年度 事業計画

1. 法人理念

「かかわる全ての人を笑顔に、人生を豊かに」

ご利用者の方々とそのご家族、並びに地域で生活しておられる方々のお力添えを頂きながら西条市（旧東予市）で事業を開始して19年目を迎えます。以来、社会福祉法人亀天会はたくさんの人に支えられ、多くのご支援とご指導を頂きながら成長してまいりました。

当会は、福祉の原点は「支えあい」であり、互いに敬い、互いに思いやりをもって過ごすことができるようサービスを提供するとともに、将来にわたり永続した発展を目指してまいります。「私たちの優しさで、地域に笑顔の花を咲かせよう」という気持ちをもって環境や命を大切にされた事業運営に努めてまいります。

2. 基本方針

- ① 礼儀を大切にしましょう。
- ② 丁寧な言葉遣いに心がけましょう。

当会では、生きがいは、「考えること・働くこと・学ぶこと・遊ぶこと・かかわること」と捉えています。ご利用者のみならず職員ひとりひとりが生きがいを感じることができる法人を目指しています。

すべての人の期待に応えるべく、その人が求め、適した手厚いサービスを提供し、生きがいを感じられる環境をつくるためには、一人ひとりと深く関わって共に生きること、つながりを大切にすることが重要です。他者の人生に関わる私たちは、礼儀と思いやりの言葉を大切にして優しさを提供するように努めます。その上で、常に成長し変化しながら、良質なサービスを提供するシステムの構築を目指していきます。また、当会に寄せられる貴重な意見や批判などを真摯に受け止めシステムの改善活動への努力も惜しみません。

当会は、社会福祉法人のあるべき姿を提示するために、人としての豊かさを身につけ、プロとしての専門性を発揮し地域社会の一員として良質な環境作りに寄与してまいります。

3. 社会福祉法人亀天会 年間計画

- ① 理事会・評議員会をそれぞれ年3回以上開催する。
- ② 所属長会議を毎月開催する。
- ③ 運営会を毎月開催し、職員の資質向上に努める。
- ④ 安全衛生委員会を設置、運営する。
- ⑤ 次席者育成のため、勉強会を行う。

【会議開催予定】

開催月	主な議題	構成員
【理事会・評議員会】		
6月	平成29年度決算報告、事業実績 他	理事・評議員・監事・ 施設長・管理者 他
9月	平成30年度事業進捗報告 他	
3月	平成31年度事業計画、平成30年度補正予算 他	
【所属長】		
毎月	毎月10日に開催、法人の事業方針の伝達・確認、事業所の運営状況の報告 他	所属長・次席者
【運営会議】		
毎月	毎月第4金曜日に開催、介護職員を対象に介護職員が知っておくべき医療・薬剤の知識を習得する。	課長以上の監督者・ 各事業所の介護職員
【安全衛生委員会】		
毎月	毎月5日に開催、労働環境の巡視、労働安全に関する勉強会を行う。	衛生管理者・所属 長・生活相談員・介 護職員・嘱託医 他
【次席者会】		
毎月	第1、第3火曜日に事業所の運営基準やケアプラン作成等について教育を行う。	事務長・所属長・所 属次長
【監事監査】		
5月	平成29年度中における事業実績及び決算の監査を行う。	理事長・事務長・所 属長・法人担当職員

事業所名 : 法人本部

1. 理念・基本方針

運営理念	法人理念「かかわる全ての人を笑顔に、人生を豊かに」の実現に取り組むため、亀天会は「思いやりと支えあうこと」を大切にしています。これらは福祉の原点であり、法人とかかわる全ての人が互いに思いやりをもって過ごせるよう、支えあうことを大切に運営していきます。
運営方針	<p>① 職員一人一人が明確な目標を掲げ、自分で考え、行動し、福祉従事者としての個々での意識向上を図ります。職員間での意識統一を心がけ、様々な対策を講じることにより、職員が笑顔で仕事ができる環境づくりを行います。</p> <p>② 地域の様々な活動に積極的に参加し、また施設を地域住民に開放することにより、開放的で地域に根差した法人を目指します。また、地域と法人がお互いに認め合い、学び合うことで活力を生み出し、地域全体が活性化できるよう、社会資源としての当法人の役割や責任を果たしていきます。</p> <p>③ 各種法令や運営基準について、各事業所にチェック体制を再構築します。現場の苦情処理・事務処理の停滞・事業所内外との適切な連携・法令遵守などの項目について「適正運営」を目的とした内部監査を行い、法人理念や方針の周知をするとともに、法人及び各事業所の問題を明確にし、課題の処理を迅速に行うことにより、事業組織の活性化に貢献します。</p>

2. 重点目標

重点目標	法人本部の職員として、職員一人一人が法人経営を支えているという意識を持ち、互いに高め合える関係を築くことで法人の発展に寄与します。
年 度 目 標	
①	倫理や意識レベルを高め、「礼儀」と「言葉遣い」を常に意識するとともに、秘書クラスのビジネスマナーを身に付けたワンランク上の人材の育成を図ります。
②	財務管理の意識の向上を図り、法人の運営状況の把握と、経費削減、業務の効率化の提案に取り組みます。
③	職員間の意識レベルの統一を図り、一体感と互いが気配りのできる環境を構築します。さらに、事業所間での問題を明確にし、課題の処理を迅速に行い、事業組織を活性化します。
中 長 期 目 標	
①	意思決定に係る正確な指導を行い、間接的に組織を統制することのできる人材の育成を図ります。

重点目標	社会福祉法人として、社会の求める高水準の満足度を指すとともに、勤労する職員が生きがいを感じられる環境づくりができるよう関係機関とのつながりを重視し、地域において福祉・介護の拠点となる組織を目指します。
年 度 目 標	
①	地域の方が気楽に立ち寄れる開かれた法人にするため、ご利用者やご家族のみならず、地域住民参加型の催事企画や広報活動を積極的に行います。
②	職員育成に関し、計画的な学習と指導を継続し、介護の質を向上に向けた研修の提供のみならず、その中で“礼儀”と“思いやり”を大切にすることを個々で高められるよう法人本部職員が率先し、ご利用者に満足して頂けるサービス提供が出来るように努めます。
③	働きやすさと働きがいの2つの視点で仕事のやりがい、達成感を感じられる評価制度を検討し、職員の定着を図るとともに、地域の介護人材の育成に寄与します。
④	介護技術のみならず、マネジメント能力の育成を重視し、管理者、リーダーを育てるとともに、組織運営や部下の評価、指導を的確に行える人材を育成します。
中 長 期 目 標	
①	人が集まる、定着する、働きやすい、働きがいがある、という四点を重視した魅力のある職場環境をつくります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域と法人がお互いに認め合い、学び合うことで活力を生み出し、地域全体の活性化に貢献します。また、社会資源としての当法人の役割や責任を果たし、法人による社会参加や地域住民の生きがいがづくりの軸となるよう努めます。
年 度 目 標	
①	当法人の利用者のみならず、地域で生活しておられる高齢者や子供達の安心・安全に努め、非常災害時における施設提供を浸透させ開放的で地域に根差した法人を目指します。
②	各事業所のご利用者やご家族、職員の交流を深め、ご利用者やご家族のニーズの把握と迅速な対応を可能にします。また、当法人職員同士の一体感を醸成するため、「出会いの場」・「学びの場」・「遊びの場」・「考える場」など様々な場面の創出に努めます。
③	地域の福祉・介護ニーズに対応するため関係機関とのかかわりの強化を図り、高水準の満足度を保ち、地域の希望・要望等の相談・受付窓口となるために、法人全体で様々な福祉サービスを整備し、地域の関係機関との連携を強化します。
中 長 期 目 標	
①	法人が地域の社会資源として、地域の活性化や交流の輪の中心となり活動できるよう積極的な広報活動を行います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
7月	盆踊り大会	地域交流の中心となる施設作りを目指し、地域のお年寄りや子供を中心としたイベントの運営を補佐する。	355,000円
7月	聖カタリナ大学 学内企業説明会	福祉の世界に就業意欲のある学生に対し、法人の求人活動を行う。	1,000円
8月	納涼会	今治国際ホテルにて、花火を鑑賞しながら、職員や関係者の交流の場を提供する。	1,485,000円
8月	福祉人材合同就 職面接会	新規学卒者を対象とした福祉職のみに視点を置いた就職面接会への参加。	1,500円
11月	第3回 亀天フェス	スポーツを通じて、職員や家族、関係者の交流を図り、健康への意識や体力づくりのきっかけをつくる。	120,000円

月	行事名	内容	予算
1月	新年会	今治国際ホテルにて、イベントを企画し、職員や関係者の交流の場を提供し、新年の決起を図る。	800,000円

4. 研修計画

重点目標	法人本部職員としての必要なスキルを磨き、内部研修において担当する職員は確かな知識を身に着けたうえで講義ができるレベルであることとし、日々の情報収集や知識の習得を怠ることなく、外部研修にも積極的に参加します。
年 度 目 標	
①	法人本部職員としての正しい立ち振る舞いや身だしなみを整え、全職員の見本となるよう社会人としてのマナーを身につけます。
②	日々の担当している業務知識の理解とともに、専門外の分野にも目を向け、幅広い視野で法人全体の流れを理解できる人材育成を行います。
③	積極的に外部研修に参加し、専門外の知識や情報も収集するように努めます。また、集めた情報を実践でも活用できるように職員一人ひとりが意欲を向上するよう促します。
中 長 期 目 標	
①	法人の代表として自己の役割を果たすことのできる体制を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	担当者
4月	介護報酬改定について	平成30年度より改定される介護報酬について理解する	岩波先生の研修を受けた者
5月	社会人としての職務知識の基礎	社会人に求められる基礎的な知識の見直しを行う	人事係
6月	平成29年度決算報告	法人の運営状況と社会福祉法人の経営環境を理解する	経理課
7月	BCPについて	BCPの意義や実践内容について学習する	総務課
8月	労働安全衛生について	全国の事例を元に労働安全衛生におけるリスクなどを理解する	人事係

月	項目	内容	担当者
9月	社会福祉法人における簿記	社会福祉法人での基礎的な簿記について理解する	経理課
10月	個人情報保護について	個人情報保護における重要性やリスクなどを学習する	人事係
11月	ネットワークについて	近年の基礎的なITについて学習する	総務
12月	介護報酬の算定	介護保険サービスの知識の習得	介護保険係
1月	適切な現金取扱い	経理規程を基にした適切な取扱いを習得する	出納係
2月	介護福祉施設経営概論	介護福祉施設の経営に視野を置いた基礎的な知識の習得する	総務
3月	新卒研修準備	社会人として正しく講義できるよう万全の体制を整える	全員
通年	内部監査	他事業所の内部監査を行って手続きを実践で確認する	

事業所名 : 特別養護老人ホーム亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>①ご利用者やご家族、施設との交流を積極的に図り、今後施設で生活していく上での個々の意向を確認し、皆でご利用者の生活を温かくサポートしていきます。</p> <p>②医療機関と施設の連携により、日々の健康管理につとめ、住み慣れたこの場所で安心して暮らせるよう支援します。</p> <p>③各専門職がカンファレンス等を開催し、個別の支援計画を作成することで、的確な生活の支援、稼働率の向上を図ります。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の生活を、ご家族と共に支援できる体制を作り、協力体制のもと安心した暮らしが出来るよう努めます。
年 度 目 標	
①	施設で希望される生活や緊急時の対応や処置についての意向を把握します。また、一年に一度、若しくは体調の変化によって、意向の再確認を実施します。
②	日々の暮らしの出来事について、ご家族に内容を細かく丁寧にお伝えし、施設での生活がご家族にも把握できるようにします。
③	月々の行事を創意工夫し、施設内だけではなく地域での活動も増やし、笑顔と楽しみがある暮らしを送れるようにします。また、活動の中でご家族と関われる企画を実施します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者及びご家族と施設が、より信頼し合える良好な関係を築き、ご利用者にとって最期を迎えるに相応しい場所になります。

重点目標	職員の医療に関する知識と技術を向上させると同時に、ご利用者一人ひとりの健康状態や意向に沿った支援の方針を出し、安定した暮らしが出来るようにします。
年 度 目 標	
①	看護師が主体となり、介護職員等と協力して、ご利用者の日々の健康状態を細かく把握します。また、健康状態の把握により、日常から医療機関との情報共有に努め、予後について個々に合った対応が出来るようにします。
②	介護・医療・機能訓練等、様々な分野から総合的な支援が出来るよう、各種計画において連動性のある援助方針を立てます。また、必要時にはカンファレンスを実施し、常に状態にあった支援が行えるようにします。
③	看護職員及び介護職員等の専門性のあるケアが実施できるよう、内部及び外部研修によって医療等の知識や技術を習得します。
中 長 期 目 標	
①	協力医療機関や施設内において、各職種で連携を図り、ご利用者の望む場所で望む暮らしが続けられるようにします。

重点目標	ご利用者及びご利用を望む方への適切な相談援助について、その方に最適な暮らしを提供します。
年 度 目 標	
①	ご利用を望まれた方へ、特養だけではなく、他サービスと組み合わせた援助等を提案し、可能な限りご利用者の望まれる暮らしを提供します。
②	入退院や入退所の際、常に身体状況や生活状況の把握を心掛け適切な対応と助言を逐一行い、状況に合った適切なケアが受けられるよう支援します。
③	入居頂いている方への介護・医療・相談援助等にて適切な利用を促し、稼働率 98%以上を目指します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用を望む方に対し、特養単体だけではなく、私たちが出来る最大限の支援を常に考え、高い満足度を得ていただける施設となります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域福祉の拠点として、地域住民が気軽に立ち寄り、介護相談や知識活動についての相談等が出来るような環境を作ります。
年 度 目 標	
①	学生等の職場体験や見学等ボランティアの受け入れを実施します。
②	地域で開催される催事について、都度計画を立て地域の一員としての活動を行います。
③	地域住民が立ち寄り、福祉や地域活動についての相談が出来るよう民生委員等と連携を図り、地域福祉を支えていきます。
中 長 期 目 標	
①	地域の中の施設として、お年寄りから子供まで誰もが気軽に立ち寄り、また地域行事を地域住民と共に主催する等、地域貢献に努めます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	ドライブ 誕生会	お花見（桜） 月例誕生会	500円
5月	東予高等学校バラ 鑑賞会 誕生会	バラ鑑賞 月例誕生会	500円
6月	ドライブ 誕生会	ドライブ（あじさい見学） 月例誕生会	500円
7月	夏祭り	盆踊り（亀天荘にて実施）	250,000円
8月	七夕祭り 誕生会	七夕祭り見学 月例誕生会	500円
9月	ドライブ 誕生会 敬老会	ドライブ 月例誕生会 敬老の日を敬老会で祝う	500円 10,000円
10月	地方祭り 誕生会	地方祭り見学 月例誕生会	5,000円
11月	紅葉狩り 誕生会	紅葉観賞 月例誕生会	500円

月	行事名	内容	予算
12月	誕生会 クリスマス お餅つき	月例誕生会 クリスマス 正月用お餅つき（月末実施）	15,000円
1月	初詣 誕生会	神社参拝 月例誕生会	500円
2月	誕生会 節分	月例誕生会 節分にて豆まき	300円
3月	誕生会 ひな祭り ホワイトデー	月例誕生会 ひな祭り及び 手作りおやつ	500円

4. 研修計画

重点目標	重度化するご利用者の支援方法や認知症・看取り等について、様々なご利用者に対し適切な対応が出来るよう、技術と知識の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	医療安全に関する知識を身に付け、看護職員等が研修を行い、施設内での医療安全に努めます。
②	認知症の方に適切なケアが提供できるように、内部研修の実施及び外部研修に参加します。また、それらにより知識と技術向上、さらに資格取得を目指します。
③	看取りケア実施について、課題を細かい部分まで再確認し、それに対応できる技術と知識及びチームケアを身に付けます。
中 長 期 目 標	
①	様々なご利用者の病状や身体状況に対応できる高齢者福祉施設となれるよう、多方面分野での知識と技術向上に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	・介護計画について	・介護計画等各種計画書の必要性について理解を深める	全職員
5月	・身体拘束について	・正しい知識を持って身体拘束ゼロを継続する	全職員

月	項目	内容	参加者
6月	・虐待について	・正しい知識で虐待ゼロを継続する	全職員
7月	・事故防止について	・事故予防に必要な事を理解し実践に活かす	全職員
8月	・褥瘡予防について	・褥瘡の発生について正しく理解し予防に努める	全職員
9月	・防災、防犯について	・防災や防犯について、最新情報を含め理解に努める	全職員
10月	・感染予防について	・インフルエンザ及びノロウイルスについて理解し正しくケアを行う	全職員
11月	・身体拘束について	・身体拘束が及ぼす危険について理解を深める	全職員
12月	・虐待について	・虐待と認知症の関係性について理解しケアに活かす	全職員
1月	・感染予防について	・感染症の理解を深め、様々な感染症に対応できるようにする	全職員
2月	・事故防止について	・事例検討にて日々のケアの問題点を見つける	全職員
3月	・褥瘡予防について	・褥瘡の早期発見と治療について学ぶ	全職員

※その他

1. 東予地区老人福祉施設協議会研修事業の外部研修への参加(計10回程度、日時未定)
2. 医療安全研修への参加(年2回程度、日時未定)

事業所名 : 短期入所生活介護事業所亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>① ご利用者、ご家族の希望を尊重し、ご家庭と同じような環境のもと、安心・安全なサービスの提供を行います。</p> <p>② 介護支援専門員や各職種が情報を共有し、継続して在宅生活を送れるよう支援していきます。</p> <p>③ 居宅介護支援事業所や在宅介護支援センター等と協力し、地域福祉の拠点として要支援者や要介護者の生活のサポートを行っていきます。</p>

重点目標	ご利用者・ご家族と施設とのコミュニケーションを密に図り、ご利用者の施設内の生活や活動が、ご家族にとって、より把握しやすいようにします。
年 度 目 標	
①	在宅での生活と施設との連動性を持たせるため、ケアマネや機能訓練指導員が在宅訪問を行い、ご自宅から施設へのスムーズな受け入れが出来るように努めます。
②	施設内の生活状況を細かくご家族へ伝える事により、ご家族にとっても安心できるケアを行います。
③	ご利用者にあった適切な各種計画を、各専門職協働のもと作成及び実施し、短期間であってもご利用者やご家族が安心して過ごせるよう支援します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者やご家族と施設にとって良好な信頼関係を築き、期間や身体状況に関わらず安心して利用できる施設となります。

重点目標	ご利用を望む方にとって、ご希望に沿ったサービスの提供を行うことにより、ご利用者やご家族が安心できるようにします。
年 度 目 標	
①	ご希望される相談内容によって、柔軟な受け入れ方法を提案し、ご家族の負担を軽減できるようなサービスを提供します。
②	定期的に利用頂ける方の他、緊急時等必要な際にも受け入れを行う等、稼働率 95%以上を目指し地域の皆さまにご利用頂く事での地域貢献に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域で暮らし続けるための手段として、ご利用者にとっての生活の一部となるようにします。

事業所名 : デイサービスセンター 亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者一人ひとりが「来てよかった」と思ってもらえるようなサービス提供を行い、ご家族が安心して託せる家庭的でぬくもりのある事業所運営を目指します。
運営方針	<p>① 安全を最優先しながら、常にご利用者の声に耳を傾け、親切で丁寧な優しい介護を目指します。</p> <p>② 自分が利用したいと思えるような、楽しいことが待ち構え、心地よい雰囲気の中、好きな活動が楽しめる環境を提供致します。</p> <p>③ 自分の役割を遂行しつつ、更なるスキルアップを図り、質の高い事業所の成長を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	丁寧な言葉遣いを心がけ、ご利用者個人の尊厳を重視すると共に、デイサービスが一人ひとりが主役になれる心地よい場所としてあり続けることを目指します。
年 度 目 標	
①	人生の先輩であるご利用者に対して敬う気持ちを常に意識して、日々の実践を行います。
②	ご利用者、ご家族、ケアマネと信頼関係を深め、情報の共有をしっかりと行い、ご利用者の課題を第一に考えて理解し、個別ケアを実践します。
③	地域や外部の医療連携を常に意識した取り組みと、機能訓練の質向上を目指し、利用者のADLが長期の維持向上を出来るようにします。
中 長 期 目 標	
①	時代の流れをしっかりと見据え、予防と重度化の様々なニーズに対応できるように職員の育成及び施設の環境整備に努めます。

重点目標	業務遂行を意識、改善しながら、質の高いサービスを提供するように全員で取り組みます。また、年間利用者数を前年より増大させることを目指します。
年 度 目 標	
①	平成 30 年度の制度改正を踏まえた業務体制、書類関係の整備を迅速に行い、ご利用者やご家族へ丁寧に説明します。また、法改正により変化したサービス提供の中で、ご利用者やご家族からの様々なニーズにしっかりと対応していきます。
②	機能訓練（リハビリ）ニーズに対応する為の職員体制、業務遂行基準、環境整備に努めます。また、個別機能訓練計画書の内容の充実を図り、それを継続していきます。
③	送迎時に朝の挨拶も笑顔で元気に行い、一人ひとりの職員が介護の相談窓口として機能し、ご利用者及びご家族へ「挨拶プラス一声」を実践し、ご利用者やご家族から頼りにされる存在を目指します。
中 長 期 目 標	
①	独自の特色を作り、皆様に特に選んで頂ける事業所作りをしていきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域福祉の拠点として気軽に相談され、頼りにして頂ける事業所を目指します。
年 度 目 標	
①	地域ボランティアの受け入れを積極的に行います。
②	園児や、地元小学生との交流を定期的に行います。
③	外出行事も定期的に計画し、楽しみながら地域交流を図ります。
中 長 期 目 標	
①	地域社会と密に繋がりのある事業所を目指し、ご利用者が社会的にも孤立することがないように、誰もが気軽に訪問できる開かれた事業所を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜花見ドライブ	実報寺、朝倉ダム周辺	1,000円
5月	藤見ドライブ	喜多台公園	500円
6月	紫陽花ドライブ	あじさいロード	500円
7月	盆踊り大会	法人全体行事、地域住民参加	特養に含む
8月	かき氷パーティ	手作りおやつ	750円
9月	敬老会	特養合同、職員による出し物	10,000円
10月	運動会	紅白対抗戦	無料
11月	文化祭 紅葉ドライブ	ご利用者、職員の出展 仙遊寺	無料 500円
12月	クリスマス会	職員による合奏や演奏	10,000円
1月	初詣	宮ノ内神社	無料
2月	節分	豆まき	無料
3月	梅見ドライブ	小松町	1,000円
毎月	誕生日会	誕生日のお祝い、プレゼント	3,600円
随時	ボランティア	地域の方々による慰問	3,000円
随時	子供達との交流	託児所や小学生との交流	2,000円

4. 研修計画

重点目標	質の高いサービス提供と様々な目標達成のために、常に自己研鑽を行います。
年 度 目 標	
①	チャレンジ出来る資格取得を目指し、専門性を高めます。
②	日々のレクや機能訓練、認知症についての外部研修を受講し、実践対応の幅を広げます。
③	職員全員が担当制で内部研修を行い、身近な例題を用いて課題解決に結びつけます。
中 長 期 目 標	
①	国家資格者の増加と、認知症関係資格者の増加を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	介護保険制度	新制度についての理解	全職員
5月	交通安全研修	送迎時の心構えと法人としての運転マナーについて	全職員
6月	感染症予防	食中毒予防と対策について	全職員
7月	災害対策について	各種防災に備えての準備と対応について	全職員
8月	高齢者虐待について	虐待種類の確認、デイ利用中に考えられる虐待について	全職員
9月	緊急時の対応	急変時の対応、AEDの使い方	全職員
10月	介護事故とヒヤリハット	デイで多い事故とヒヤリの検証分析と、記録の書き方について	全職員
11月	感染症予防	インフル、ノロの対応方法について	全職員
12月	認知症の理解	認知症の種類と症状、対応方法の事例検討会	全職員
1月	身体拘束について	どのような事が身体拘束になるのか、またやむを得ない場合の拘束事例について	全職員
2月	守秘義務について	守秘義務の重要性について	全職員
3月	振り返りと目標共有	今年度の反省と新目標の共有について	全職員
随時	レクの質の向上について	レクの基本を踏まえながら、現在プログラムの見直し	全職員
随時	ケアプランについて	通所介護計画の作成と評価について	全職員
随時	業務遂行と役割	現在の業務についての改善点について	全職員

<外部研修>

- ・ 認知症介護実践者研修 愛媛県主催
- ・ 介護技術向上講習会 愛媛県主催
- ・ デイ関係の研修 管理者、認知症、機能訓練、レクに関する研修

事業所名 : 在宅介護支援センター亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	地域に住む高齢者に関する各種の相談を受け付け、関係機関との連絡・調整を行い、適切な支援を行います。
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談者と真摯に向き合う事で信頼関係を築き、問題解決に努めます。 ② 介護予防事業として「いきいき百歳体操」「高齢者のつどい」を実施します。 ③ 地域で困っている方を対象に地域ケア会議を開催し、地域との連携、ネットワーク作りに努めます。

2. 重点目標

重点目標	独居、高齢者世帯への支援を積極的に行います。
年 度 目 標	
①	担当している地域のご自宅へ訪問し、状況の把握、支援を行います。
②	民生委員、見守り推進委員との情報交換を定期的に行います。
③	地域の集会に積極的に参加し、実態の把握に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域包括ケアシステムの中核的な役割を担います。

重点目標	地域で困っている方を対象に地域個別ケア会議の開催を行います。
年 度 目 標	
①	居宅事業者、民生委員等と連携し、対象者の把握を行います。
②	見守り推進委員と協力し、定期的に自宅訪問を行います。
③	地域活動の主要な所へ出向き、ネットワーク作りを行います。
中 長 期 目 標	
①	活動を通じて地域のネットワークを強化します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域のニーズや実情に応じた地域貢献事業を行います。
年 度 目 標	
①	高齢者のつどい事業を月 1 回開催します。
②	いきいき百歳体操を 2ヶ所行います。
③	地域ケア会議を実施します。
中 長 期 目 標	
①	地域包括ケアシステムの中核的な役割を担います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月 ～ 3月	高齢者のつどい事業	庄内、三芳公民館にて高齢者を対象に憩いの場所作りを目的に運営、実施する	無料
11月	河北会館ふれあい祭り	「福祉と人権」の交流の場として参加させて頂き「相談コーナー」を担当する	無料
11月	西条産業祭	他の在宅介護支援センターと協力しながら参加し、福祉コーナーを一室設け、より多くの方に福祉を知ってもらう	無料
5月 9月	いきいき百歳体操	高齢者を対象に各公民館、集会所にて1クール 12 回実施し、おもりを付けて、ゆっくりとした体操やかみかみ百歳体操も一緒に行う	無料

4. 研修計画

重点目標	地域支援事業における支援センターとしての役割を理解します。
年 度 目 標	
①	外部研修への参加を行います。
②	定例会に参加し、情報の収集に努めます。
③	日々福祉ニュースや福祉新聞記事を読み見識を広めます。
中 長 期 目 標	
①	総合的に幅広い知識を身に付けます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月	在支連絡会議	活動報告、研修等	担当者等
随時	ケアマネ連絡会議	研修会	担当者等

事業所名 : 居宅介護支援事業所 亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	高齢者の相談やご要望に迅速に対応ができるような組織体制を確立し、ご利用者、ご家族の信頼や満足度が向上するように努めます。
運営方針	① 常にご利用者、ご家族への相談や要望に対応できる組織体制を確立します。 ② 関係機関との連携を図り、高齢者が安心して生活できる環境を作ります。

2. 重点目標

重点目標	医療との連携を図り、医療ニーズの高い高齢者に対応できる事業所となります。
年 度 目 標	
①	医療機関との連携室への訪問、情報交換を図り信頼関係の構築に努めます。
②	医療系サービスの情報の収集を行い、各事業所の特徴を把握しご利用者に適切なサービスを提供します。
③	日頃よりご利用者の受診に同行し、主治医と情報を共有することで良好な関係を構築します。
中 長 期 目 標	
①	高齢者が、必要な治療を円滑に受けられるように重度化防止につなげます。

重点目標	地域の高齢者が必要に応じ、サービスが受けられる体制を作ります。
年 度 目 標	
①	民生委員、自治会、在宅介護支援センター、地域包括支援センターと情報を交換、共有し地域の高齢者の実情を把握します。
②	要望があれば迅速に訪問し、直接相手と顔を合わせて不安や要望を聞き、関係機関への橋渡しをします。
③	地域に日頃より情報を発信することで、サービス利用への抵抗をなくし、円滑に必要なサービスが受けられるようにします。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者、ご家族から「相談してよかった」「任せてよかった」と言われるような満足度の高い事業所となります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の方から気軽に声を掛けられる事業所となります。
年 度 目 標	
①	地域の高齢者宅に見守り訪問を行い、安否確認を行います。
②	在支主催の行事に参加し地域の高齢者と日頃より関わりを持ちます。
中 長 期 目 標	
①	高齢者、そのご家族から常に頼られる事業所となります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
毎月 1回	高齢者の集い	公民館を活用し、地域の高齢者の交流の場を作る	無料
11月	河北ふれあい祭り	隣保館の河北会館にて毎年開催されており、展示、催し、バザーを開催。世代間交流、地域間交流の場を作る	無料

4. 研修計画

重点目標	在宅介護支援の専門性を活用できるように、職員のスキル向上に努めます。
年 度 目 標	
①	内部研修を週 1 回、各職員持ち回りで実施し知識向上を図ります。
②	職員のスキルを見極め、外部研修へ積極的に参加し、知識向上や情報収集を行います。また、日々の処遇向上に努めます。
③	常に新しい情報の収集に努め、事業所で共有を図り知識向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	知識の向上ができ、的確にご利用者、ご家族に助言・指導が行えご利用者、ご家族の信頼向上につながるようにします。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月 4回	居宅サービス会議	介護保険外の制度、高齢者に多い疾患やケアプラン作成など、介護支援専門員業務に必要な知識を持ち回りで勉強会を行いスキル向上を図る	全職員

事業所名 : グループホーム 亀天福寿苑

1. 理念・基本方針

運営理念	“一緒に” “共に” を大切にし、私たちは支援します。
運営方針	① ご利用者、一人一人が「その人らしく」生活が送れるよう支援します。 ② ご家族と積極的に交流し「安心」を提供します。 ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。 ④ 職員の質の向上を目指し、より良い職場環境を提供します。

2. 重点目標

重点目標	ご利用者、一人一人の尊厳を大切にし、体調管理を行い、全職員が状態把握・情報共有し、統一した支援を行います。
年 度 目 標	
①	一人一人の特技や趣味を把握し、活かせるように、アセスメントや介護計画を行い、計画に沿った支援を行います。
②	常にご利用者の気持ちを考え、行動した背景にまで目を向け、寄り添い、会話をする大切さを理解して行動します。
③	日々の生活やレクリエーション・季節の行事の充実を図り、心身ともに一人一人の機能維持を図ります。
中 長 期 目 標	
①	軽度から重度のご利用者まで、その人らしさを残せる支援を行い、生き生きとした表情で生活を送って頂ける様努めます。

重点目標	職員の定着率が上昇するようにします。
年 度 目 標	
①	職員のやる気が出るような環境を作ります。職員の得意分野を活かし、やりがいに繋がるようにします。
②	職員間でのコミュニケーションを図り、助け合う気持ちを大切にします。業務の役割把握を全職員で行います。
③	福寿苑が楽しい職場である事を知ってもらえる様、広報に力を入れていきます。
中 長 期 目 標	
①	「福寿苑で働きたい」という方を増やします。

重点目標	ご家族に「福寿苑を選んで良かった」という高い満足度を得てもらえるように心がけます。
年 度 目 標	
①	ご利用者の日々の様子や状態がご家族に伝わるように、全職員が伝えられるようにします。
②	ゆったりとした面会時間の確保や行事参加を促進し、ご家族が来苑する機会を作ります。また、ご利用者とご家族が一緒に楽しんで頂ける時間を増やします。
③	入院中の様子伺い等、施設へ入所するまでのフォローを行い、途切れない関係作りを行います。
中 長 期 目 標	
①	ご家族から、いろいろな相談が出来る関係を目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の方が、気軽に立ち寄れる場所を目指します。地域行事にも参加します。
年 度 目 標	
①	地域の方々とコミュニケーションを取り、希望する「憩い」の場所作りを行います。
②	運営推進会議・趣味の会を継続し、内容の充実や広報に力を入れ参加者を増やします。
③	高部地区防災連絡会議や地域行事に参加し、地域の方と一緒に過ごす時間を作ります。
中 長 期 目 標	
①	地域の中心となる場所を目指します。

重点目標	地域医療との連携がより密に出来るようにします。
年 度 目 標	
①	居宅介護支援事業所・地域連携室等の方と連絡を取り合い、情報の共有を行います。
②	ご利用者の様子を詳しく伝え、医療と一緒にご利用者を支えていきます。入院中の方の情報共有も行います。
中 長 期 目 標	
①	居宅介護支援事業所・地域連携室から多くの相談が受けられようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見 運営推進会議	バスを利用し、参加者・ご利用者と一緒に お花見をする 運営状況、行事報告、意見交換を行う	無料
5月	おやつ作り 高部地区お祭り	参加者・職員と共におやつ作りを行う 高部巖島神社へお祭り見学にご利用 者と一緒に出掛ける	2,000円 無料

月	行事名	内容	予算
6月	ブローチ作り 運営推進会議	鞆や洋服につけるブローチを作成する（11月に開催する文化祭に出品する） 運営状況、行事報告、意見交換を行う	1個 1,000円 人数分
7月	転倒予防体操	健康に向けての体操を参加者と一緒に行う	無料
8月	夏祭り 運営推進会議	盆踊り等夏のイベントを開催する 運営状況、行事報告、意見交換を行う	15,000円
9月	敬老会	ご利用者を敬い、職員による慰労会を行う	5,000円
10月	梨狩り 運営推進会議	農園での梨狩り・生みたて卵での買い物などでドライブを楽しむ 運営状況、行事報告、意見交換を行う	実費
11月	文化祭	職員やご利用者の作品展や喫茶コーナーを行う	5,000円
12月	クリスマス会 運営推進会議	クリスマス会で職員の催し物や来苑者と共に参加するイベントを行う 運営状況、行事報告、意見交換を行う	5,000円
2月	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行う	無料
3月	波止浜地区文化 福祉祭り	ご利用者・ご家族・職員の作品を展示し、ご利用者と一緒に見学に福祉祭りに出掛ける	無料

1月～3月は、インフルエンザ流行時期になる為、行事は実施しません。

*毎月第3木曜日は、ボランティアの先生が来苑し、コーラス会を行います。

*高部公民館にて行われる高部地区防災会議に出席します。

*地域のイベント情報を集め、参加します。

4. 研修計画

重点目標	基本的な知識・技術を身につけ、介護員の質向上を目指します。 新人職員に指導ができる職員を増やします。
年 度 目 標	
①	質問や発言が多く出る活気ある内部研修を行います。
②	外部研修にも積極的に参加し、職員全体で共有します。
③	理念・基本方針を定期的に振り返り、意識を高めます。
中 長 期 目 標	
①	介護技術を習得し、様々な要望に対応できる職員を増やします。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	介護施設とは	介護施設にはどのような施設があるか。また、施設の種類やどのような方が利用するかを理解することで、グループホームの位置やご家族・地域の方に話ができるようにする。	全職員
5月	接遇について	接遇マナーを学び、ご利用者・ご家族・地域の方とよりよい関係が築けるようになる。また、来客対応・電話対応も学び、施設の質の向上を目指す。	全職員
6月	感染症について。(食中毒について)	食中毒予防の3原則や食中毒の原因は何か。どのような対応を行えば良いかをマニュアルに沿った対応方法を学ぶ。	全職員
7月	認知症の種類について 身体拘束・虐待について	認知症という病気の種類を学び、BPSDと対応方法を考え、実践できるようになります。虐待・身体拘束について3ロック（スピーチロック・ドラッグロック・フィジカルロック）の危険性についても考える。	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	コミュニケーション・対応について	認知症の方とのコミュニケーションを考え、脳の働きを理解して、認知症の方の特徴をとらえた言葉がけの仕方を学ぶ。	全職員
9月	リスクマネジメントについて	ヒヤリハットと事故の違いを学び、危険予測が出来るような支援方法を学び、マニュアルに沿った対応方法を学ぶ。	全職員
10月	防犯について	緊急時における対応方法を具体的な例を参考に考え、いざという時に行動が起こせるようになる。日頃の防犯対策や知識の習得を行う。	全職員
11月	防災について	緊急時における対応方法を具体的な例を参考に考え、いざという時に行動が起こせるようになる。認知症の方がどのような行動をするか等の予測を話し合う。	全職員
12月	感染症について	感染予防方法や予防の必要性、平常時の対応、発生時の対応を学ぶ。	全職員
1月	レクリエーションについて	レクリエーションの必要性や効果について学び、実践する。また、認知症の度合いにより、どのレクリエーションが良いかを考えるようになる。	全職員
2月	身体拘束・虐待について	虐待と身体拘束について学び、なぜしてはいけないかを考えてより良い支援を目指す。	全職員
3月	夜間緊急対応について	夜間帯では、何に注意が必要なのか。緊急時の迅速な対応、適切な処置、連絡体制の確認を行い、知識を深め対応する。	全職員

*認知症の方に対しての対応方法を常に考えて研修を行います。

*入居者の方の自立支援と尊厳の保持を念頭に置いて業務並びに学習を行います。

*今治グループホーム交流会（2か月1回）の勉強会にも積極的に参加します。

1. 理念・基本方針

<p>運営理念</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症という病気から自宅での生活が困難になったご利用者に「もう一つの家」と思っただけのような環境を作り、本来の自分らしい生活が出来る事を目的に支援を行います。 ・ ご利用者個々の思いや生活の違いをサービスに取り入れ、ご利用者及びご家族の安心を提供していきます。 ・ 職員が、「鶴翠の介護員」として自覚し、各々が自信を持てるように、随時研修を行います。また、それら研修による介護員の質及びサービスの質の向上を目指します。
<p>運営方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ご利用者の思いや性格、生活歴等、ありのままの状況を正確に把握して理解し、受け入れる事で、本人の望む生活、生きがいなどを見出し、もう一つの家で生活していると思っただけのような支援を行います。 ② ご利用者の体調管理や心身の状態観察と把握に努め、ホームでの暮らしに安心感を持っただけのように支援を行います。 ③ ホーム行事や地域行事、運営推進会議等を通してご家族や地域の方々との交流を図れるように取組み、住み慣れた場所であると認識して頂けるような支援を行います。 ④ 職員の能力・資質の向上の為、内部研修・外部研修を積極的に実施し、サービスの向上に努めます。

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の思いや生活歴など個々のありのままを受け入れ、それらを反映したサービスを提供します。さらに、鶴翠を「もう一つの家」として認識してもらえる様、職員とご利用者との信頼関係を築くことを重視し、ご家族、ご利用者ともに安心して生活できるように支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者の願いや思いを尊重した支援が行えるように、認知症高齢者とのコミュニケーション技術や認知症の知識を習得します。
②	ご利用者の能力や趣味に応じたレクリエーションや行事内容の充実を目指します。
③	職員全員がアセスメントを行い、ご利用者に関する情報を共有することで、チームケアが行えるよう努めます。
④	介護技術及び知識を習得し、認知症高齢者への適切な対応が行えること、又、それらが不足していることにより起こる介護事故を防ぐことで、入院による空床日数の増加を防ぐことを目指します。
⑤	上記4点を行い、入院による空床日数を減少させ、稼働率 96%以上の維持及び要介護度の高いご利用者へも対応できるような環境を目指します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者及びご家族が高い満足度を得てもらえる様、ご家族やご利用者と職員の信頼関係を含めた、ご利用者を取り巻く全ての環境を整えます。また、職員全員がどのような状態のご利用者にも対応できるような技術、知識、経験を持っている施設を目指します。

重点目標	職員すべてが組織の一員であり、それぞれが鶴翠を経営していることを自覚し、利益を確保するための意識改善を行います。また同時に、ご利用者へ提供するサービスの質を落とすことなく施設の運営ができることを目指します。
年 度 目 標	
①	事務用品等の備品の取り扱いや施設設備に対する意識を改善し、経費を削減します。
②	職員が介護保険制度について理解し、事業所の収入・支出の仕組みを職員が理解できることを目指します。
③	職員が介護の知識を深め、ご利用者の小さな変化にも気付けるようになる事を目指します。また、介護員と看護師が情報の共有を密に行うことにより、異常の早期発見、対応が行えるようにします。
④	異常発見時の各職員の連携、主治医やご家族との連携が速やかに行えるよう、ご家族との信頼関係を構築します。また、全職員が緊急時に対応でき、重症化を防げるようにします。
⑤	上記4点を行い、年間稼働率96%以上を目標とします。
中 長 期 目 標	
①	職員全員が利益に対する意識を持ち、空床日数を減らし稼働率を上昇するためにはどのような支援が必要か、さらに、その支援を行うために自分に必要なもの、足りないものなど、課題への気づきの力をもって業務にあたることを目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の皆様との関係を密にし、鶴翠と地域との連携をより深いものにする事で協力体制を築きます。また、有事の際だけではなく、様々な場合に支援をし合える関係づくりをすることで、リピーターや地域からのお客様紹介が増加することを目指します。
年 度 目 標	
①	外部の催し物への参加や地域環境の活用を取り入れ、地域福祉活動を充実させます。
②	ご家族が出席参加できるような行事を実施し、ご家族とご利用者が楽しみながら家族交流出来る時間を提供します。
③	ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行い、地域とご利用者及び鶴翠の交流を行います。
④	上記3点を行い、運営推進会議へご家族も含めた地域の皆様の参加人数が常に10名以上になることを目指します。
中 長 期 目 標	
①	東予地区の介護施設と言え「鶴翠」との言葉を頂けるよう、近隣地域だけではなく、ご利用者のご家族や関係者との信頼関係を深め、関係者すべての方に「いいところ」と思ってもらえるような施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見	お花見のドライブに出かけ季節感を味わう	
5月	端午の節句 運営推進会議	こいのぼりや兜を作成、飾りつけし、端午の節句をお祝いする 運営状況・行事報告を行い、意見交換を行う	
6月	紫陽花見学 歌謡ショー	紫陽花ロードへ紫陽花見学に行き気分転換を図り外気浴を行う ボランティアによる歌と踊りの歌謡ショーを見学する	

月	行事名	内容	予算
7月	七夕 夏まつり 運営推進会議	七夕飾りと笹飾りを作り施設の飾りつけをする 亀天荘夏祭りに参加して盆踊りを楽しむ 運営状況、行事報告、意見交換等行う	3,000円
8月	誕生会 合同レク	8月誕生者をお祝いする 1階、2階で交流会を行う	
9月	敬老会 お月見 運営推進会議	ご家族、地域の方々を招待して敬老会を行い、地域交流を行う お月見会を開き、季節感を感じて頂く 運営状況、行事報告を行い意見交換を行う	3,000円
10月	秋祭り（地域） 運動会	子供みこしや地域の獅子舞を楽しみ、地域の方と交流する ご家族を招待して運動会を行い家族交流を図る	3,000円
11月	ふれあい祭り 運営推進会議	河北会館のふれあい祭りに参加して地域の方々と交流を図る 運営状況、行事報告、意見交換を行う	
12月	クリスマス会	ご家族を招待してご利用者手作りのプレゼントをし、家族交流を行う	3,000円
1月	新年会 運営推進会議	年の初めのお祝いをする 運営状況、行事報告、意見交換を行う	
2月	節分	節分行事で豆まきやゲームを楽しむ	
3月	雛祭り 運営推進会議	ご家族を案内して雛の節句を祝う 運営状況、行事報告、意見交換を行う	

4. 研修計画

重点目標	介護職員の介護技術や知識の底上げを行い、提供するサービスの質を上げ、職員一人一人がご利用者への接遇を考えながら運営できることを目指します。
年 度 目 標	
①	内部研修では、ケアマネや介護福祉士を中心として、介護の基本的な研修を行い、職員全員のスキルアップを目指します。
②	外部研修では、効果的な研修を選定し、随時職員に情報提供を行い、意欲のある職員の研修参加要請にはできる限りの支援を行います。
③	外部研修の内容を全員が把握し、業務に取り入れるために、研修報告の機会を設け、職員同士がお互いを補い合うことのできる環境を作ります。
中 長 期 目 標	
①	介護福祉士及び認知症介護実践者研修修了者を増やし、職員個々が接遇を意識しながら業務を行える、又、切磋琢磨しながらお互いを高めあえるような環境を作ります。

【内部研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について	電話対応と接客（苦情）について学び、ご利用者及び外部の方への対応を実践する	全職員
5月	リスクマネジメント	リスクマネジメントを理解し、介護事故を防ぐ方法と事故が起こった後の対応を学び、実践する	全職員
6月	感染症について	食中毒について学び、感染予防の方法と感染時の対応方法について知る	全職員
7月	認知症について	認知症について学び、ご利用者の自立支援に向けてのケアの方法を理解し、実践する	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	身体拘束廃止について	身体拘束及び虐待について学び、適切なケアを実践する	全職員
9月	防災について	防災マニュアルをもとに、避難方法、又、緊急時の自分の役割について理解する	全職員
10月	介護技術について	認知症高齢者のADL改善の方法を学び、普段の生活やレクリエーションに取り入れ実践する	全職員
11月	認知症高齢者と環境について	認知症高齢者を取り巻く環境について理解し、ここに合った環境づくりを実践する	全職員
12月	感染症について	インフルエンザなどの感染症対策について学び、施設としてできる予防、又、感染時の対応を実践する	全職員
1月	防犯について	防犯対策について学び、施設としてできる対策、又、緊急時の対応方法を理解し、実践する	全職員
2月	ケアプランについて	ケアプランの意味や大切さを学び、職員全員がかかわったケアプランの作成を行う	全職員
3月	個人情報について	個人情報や記録について学び、個人情報ほどや守秘義務、情報開示等を考慮した記録を行う	全職員

【外部研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	在宅介護研修センター	当月実施研修講座に応じて	介護職員
5月	在宅介護研修センター	当月実施研修講座に応じて	介護職員
6月	愛媛県社会福祉協議会	「福祉の職場」 新任職員研修	介護職員
7月	愛媛県社会福祉協議会	介護職員技術向上講習会 (身体介護・2年未満) サービス向上研修会 「福祉の職場」 中堅職員研修	介護職員
8月	愛媛県社会福祉協議会	サービス向上研修会	介護職員
9月	愛媛県社会福祉協議会	介護職員技術向上講習会 (身体介護・2年以上)	介護職員
10月	愛媛県社会福祉協議会	サービス向上研修会	介護職員
11月	在宅介護研修センター	当月実施研修講座に応じて	介護職員
12月	在宅介護研修センター	当月実施研修講座に応じて	介護職員
1月	愛媛県社会福祉協議会	介護職員技術向上講習会 (認知症介護・初級) 介護職員技術向上講習会 (認知症介護・上級)	介護職員
2月	在宅介護研修センター 周桑病院 地域医療連携室	当月実施研修講座に応じて 医療・福祉交流会	介護職員
3月	在宅介護研修センター	当月実施研修講座に応じて	介護職員

※ 認知症介護実践者研修 1～2名 受講希望

事業所名 : ケアハウス鶴翠苑

1. 理念・基本方針

運営理念	高齢者の特性に配慮した住み良い生活空間を提供するとともに、健康で穏やかに、笑顔あふれる生活を送ることができるよう、ご利用者一人ひとりに適したサービスを提供します。また、ご利用者の自己決定の意思を尊重し、施設職員が熱意を持って支援を行います。
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ① ご利用者の人権を尊重し、自分らしく笑顔あふれる生活を送って頂くことを目指して支援を行います。 ② ご利用者一人ひとりのことをよく知り、個々に合った支援を行います。 ③ 自立した生活を継続することができるように介護、看護、機能訓練等の専門スタッフのチームケアによる充実したサービスの提供を行います。

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の人権と自己決定権を尊重し、自分らしく笑顔あふれる生活を送って頂けるように支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者一人ひとりの性格や生活歴をもとに介護支援計画を策定し、ご利用者及びご家族の求める生活の実現に努めます。
②	日々のレクリエーションに楽しみを持って参加して頂けるよう、脳の活性化及び残存機能の維持につながる「選べるレクリエーション」の提供を図ります。
③	2ヶ月に1回程度、四季折々の具材で、「選ぶ」・「見る」・「作る」・「食べる」という様々な楽しみを感じて頂くよう、充実した食に関するイベントを開催します。
中 長 期 目 標	
①	自己決定により、自分らしく生活をする中で、ケアハウス鶴翠苑に入居してよかったと思ってもらえるように支援します。

重点目標	ご利用者の心身の状態観察・把握を行い、ご家族や医療機関と密な連携を図るとともに、早期発見に心がけ、できる限りケアハウスで安定した生活が送れるように努めます。
年 度 目 標	
①	ご利用者の食事・排泄・睡眠・運動等日常生活全般から、多職種での確なアセスメントを行い、健康管理と重度化予防に努めます。
②	転倒等によるケガを防止するため、残存機能を維持する機能訓練を強化し、徹底した事故防止対策に多職種で取り組みます。
③	職員が医療に関する知識を身に付け、ご利用者に安全な生活環境を提供できるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者が穏やかな生活を送ることができる環境を提供するよう努め、それによりご家族も安心して生活が送れる施設を目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	ケアハウスが地域と共存し、介護だけではない「生活のパートナー」を目指します。
年 度 目 標	
①	運営懇談会等にご家族や地域の方を招いて意見を頂戴したり、防災・防犯訓練を合同で行ったりして、地域に開かれた施設運営を行います。
②	ケアハウスで実施する行事において、ご利用者とご家族、地域住民の交流を図り、ご利用者同士、ご利用者とご家族、ご家族と地域がそれぞれ共助の関係を構築できるように努めます。
③	ボランティアの受け入れを行ったり、地域で開催されているイベントにご利用者が参加したりして頂くなど、ご利用者の彩りある生活を支援します。
中 長 期 目 標	
①	施設内・施設外において、交流を深め、開かれた施設として地域より受け入れて頂くようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	観桜会 誕生会 ドライブ(お花見) 買い物(2回) 運営懇談会	桜の名所で観桜 月の誕生者のお祝い 希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ 希望者を募り、近所のスーパーへ 運営状況報告行い、意見交換	無料 1名 308円 8,990円 無料
5月	避難訓練 (グループホーム 鶴翠と合同訓練) 誕生会 おやつイベント ドライブ 買い物(2回)	火災想定での避難訓練・消火訓練 救急救命法の実施 月の誕生者のお祝い 季節感を味わう 希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ 希望者募り、スーパーへ	無料 1名 308円 8,990円
6月	誕生会 ドライブ 買い物(2回) 運営懇談会	月の誕生者のお祝い 希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ 希望者募り、スーパーへ 運営状況報告行い、意見交換	1名 308円 8,990円 無料
7月	七夕祭り 盆踊り大会参加 誕生会 おやつイベント ドライブ 買い物(2回)	短冊に願いごと記入後、飾り付け 亀天荘にて行われる盆踊りに参加 月の誕生者のお祝い 季節感を味わう 希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ 希望者募り、スーパーへ	無料 1名 308円 8,990円
8月	丹原七夕祭り見学 誕生会 ドライブ 買い物(2回) 運営懇談会	丹原商店街にて実施される祭りの見学 月の誕生者のお祝い 希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ 希望者募り、スーパーへ 運営状況報告行い、意見交換	無料 1名 308円 8,990円

月	行事名	内容	予算
9月	敬老会	職員による出し物、入居者様参加型の催し物の実施	無料
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント ドライブ	季節感を味わう 希望者場所選定及び季節感、情景のある場所へ	8,990円
	買い物	希望者募り、スーパーへ	
10月	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	ドライブ	利用者様希望場所選定及び季節感情景場所	8,990円
	買い物	希望者募り、スーパーへ	
	運営懇談会	運営状況報告行い、意見交換	無料
11月	紅葉狩り 避難訓練 (グループホーム 鶴翠と合同訓練)	紅葉の名所で紅葉狩り 火災想定での避難訓練・消火訓練	無料
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント	季節感を味わう	8,990円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーへ	
12月	クリスマス会	職員の出し物、サンタクロースからのプレゼント、クリスマスケーキ	無料
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント	季節感を味わう	8,990円
	買い物	希望者募り、スーパーへ	
	ドライブ	利用者様希望場所選定及び季節感情景場所	
	運営懇談会	運営状況報告を行い、意見交換	
1月	新年会	新年の挨拶、ご利用者による新年の抱負、近所の神社へ参拝	600円
	初詣		無料
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント	季節感を味わう	8,990円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーへ	
	映画鑑賞会	感染症予防対策期間に応じる	

月	行事名	内容	予算
2月	節分	ご利用者による豆まき、無病息災を願う	216円
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント	季節感を味わう	8,990円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーへ	
	ドライブ(観梅会)	希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ	
	映画鑑賞会 運営懇談会	感染症予防対策期間に応じる 運営状況報告行い、意見交換	無料
3月	ひな祭り	ひな人形飾りの鑑賞・ひな祭り会	無料
	誕生会	月の誕生者のお祝い	1名 308円
	おやつイベント	季節感を味わう	8,990円
	ドライブ	希望場所選定及び季節感、情景のある場所へ	
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーへ	
	避難訓練	風水害想定での避難訓練	

クラブ活動 月1回 絵手紙・習字

4. 研修計画

重点目標	福祉従事者として必要な知識を身に付け、より良い支援を行う事が出来るように職員の資質の向上を図ります。
年度目標	
①	介護技術のみならず、医療・IT・リーダー養成等に関する研修を行うよう、外部資源を活用しながら学習の機会を確保します。
②	内部研修では、現在まで蓄積した知識や技術をさらに深め、「思考を促す」内容の研修を実施します。
③	介護技術、コミュニケーション技術知識の習得を図り、ご利用者とご家族に信頼ある安心した支援を提供します。
中長期目標	
①	職員一人ひとりが「ご利用者にとっての最適を考えることができる」・「臨機応変に対応することができる」職員になることを目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について 外部研修	ご利用者の方やご家族とより良い信頼関係が築けるように、社会人としてのマナーを学ぶ。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 事務員
5月	法令遵守と行動規範について 外部研修	法令遵守の基本姿勢、基本原則を学ぶとともに、福祉従事者としての行動規範を再確認し身につける。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
6月	食中毒の予防と対策について 外部研修	気温の変化によって生じやすい感染症(ノロウイルス等)を始めとした疾病について学び、対策を知る。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師
7月	身体介助について 外部研修	入浴、排泄、移乗の介助を中心に入居者の方に負担をかけない介助方法について学ぶ。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
8月	防災、防犯について 外部研修	災害時、犯行時の予防・安全対策を学び、意識の向上に繋げる。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
9月	夜間の緊急時の対応について 外部研修	夜間、看護師が不在となるため、介護職員も緊急時に適切な対応が必須となり、緊急時での対応を学ぶ。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師
10月	介護記録について 外部研修	誰が見てもその時の状況を理解し、次の支援に活かすことが出来るような記録を残す為の研修を行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
11月	感染症の予防と対策について 外部研修	施設にて発生の可能性のある感染症(インフルエンザ等)について学び、その予防方法について職員全員で周知し、感染症の予防法を実施することのできるように研修を行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師
12月	身体拘束、高齢者虐待について 外部研修	どのような行為が身体拘束や虐待にあたるのかを把握し、日頃の支援の中で知らず知らずのうちにしてしまう拘束や虐待を行わないように研修を行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
1月	栄養について(嚥下状態など) 外部研修	嚥下状態に合った食事の形態などを、管理栄養士により研修を行い、知識を深める。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 管理栄養士
2月	転倒予防について 外部研修	事故発生の要因となることへの気づきを身に着け、要因を解消し発生を予防するためにはどうすれば良いかを学ぶ。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
3月	機能的な機能訓練について 外部研修	日常生活の中でも行う事が出来る機能訓練。日頃の支援や声掛けの中でどのようなことに気を付けながら行えば良いかを学ぶ。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 機能訓練指導員

事業所名 : ヘルパーステーション 鶴翠

1. 理念・基本方針

運営理念	介護支援専門員のケアプランに沿った介護サービス計画書を作成し、介護福祉士・専門課程の研修を修了した訪問介護員が全ての要支援・要介護の方に対して『自分らしく生き、笑顔でいられる生活づくり』に貢献出来るよう在宅生活を支援していきます。
運営方針	<p>① 社会人として節度を持って行動し、ご利用者の心身機能の改善、環境調整を通じてご利用者の自立を支援していきます。</p> <p>② サービス提供の開始に当たりご利用者の心身状況を把握し、市町村・地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。</p> <p>③ 介護予防・日常生活総合事業等の業務を受諾しサービスの提供を行い、在宅の一人暮らし高齢者等の自立を支援します。「ご利用者の出来る事はご利用者が行う」を基本としたサービス提供に努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	老老介護の増加が懸念される中、ご家族介護者への支援や家庭生活における高齢者の安心を確保します。
年 度 目 標	
①	ご利用者の健康状態や生活環境を把握し、豊かな生活が送られるよう支援していきます。
②	ご利用者が、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らす事が出来るよう、医療と介護の連携強化を充実していきます。
③	高齢者の状態と希望に応じた住まいの場や環境等に配慮した在宅生活を支援していきます。
中 長 期 目 標	
①	在宅生活の充実・ご家族介護者への支援を行います。

重点目標	各自の教育により知識や介護技術の向上を図り、質の高いサービス提供に努め、身体介護のサービスを今後増加していきます。
年 度 目 標	
①	毎月の研修を通じて、スキルアップに努めます。
②	リスクの分析・評価を定期的に行い、事故防止に努めます。
中 長 期 目 標	
①	身体介護のサービスを誰でも出来るように、介護技術を高める事で、満足して頂けるサービスを提供できるようになります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の行事などに参加していきます。
年 度 目 標	
①	亀天会・盆踊り大会に参加します。
②	河北会館・ふれあい祭りに参加します。
中 長 期 目 標	
①	地域との繋がりを大切にして、ヘルパー事業所をアピールしていきます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
7月	盆踊り大会	社会福祉法人亀天会を地域住民の方にアピールする	無料
11月	ふれあい祭り	河北会館主催の祭りに参加して、住民の方にヘルパー事業所をアピールする	無料

4. 研修計画

重点目標	法人職員として自覚を持つと共に、事業所の代表である自覚をもってサービス提供に当たれるよう介護技術を身に着けます。
年 度 目 標	
①	サービス提供責任者が、各訪問介護員と同行訪問を行う事によりサービスの統一化を図り、介護計画書に沿ったサービスが提供出来るようにします。
②	サービス提供時、各自問題意識を持ち、職員会議で問題点を発表する事により介護技術の改善・事故防止に努めます。
③	身体介護の利用者の受け入れがスムーズに出来るよう各自がスキルアップしていきます。
中 長 期 目 標	
①	各自の介護技術を高め、職員間で気軽に意見交換できるような事業所作りに努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	平成30年度・年間研修計画について	各自の目標を確認しながら1年間の計画をたてる	全職員
5月	認知症について	認知症の理解を深める	全職員
6月	身体清潔について	清潔保持を理解する	全職員
7月	脳梗塞について	病気の内容を理解する	全職員
8月	緊急時・事故発生時の対応について	緊急時に迅速な対応が出来るようにする	全職員
9月	事例検討会		全職員
10月	車椅子介助・入浴介助について	ご利用者を安全に移乗出来るよう実践する	全職員
11月	褥瘡予防について	褥瘡の分類を理解する	全職員
12月	感染予防について	予防や対策について理解する	全職員
1月	高齢者の寒さ対策について	寒さ対処法を学ぶ	全職員
2月	事例検討会		全職員
3月	平成30年度の振り返りと平成31年度の目標	各自が反省と今後の目標を立てる	全職員

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護 亀天水陽苑

1. 理念・基本方針

運営理念	いつでも自分らしく。ゆっくり、のんびりとした生活を。
運営方針	<p>① ご利用者一人一人のご自宅での生活習慣を大切にし、出来ることを最大限生かし、自立の状態を維持できる様、支援を行います。</p> <p>② なじみのある地域の中で、安心して生活を送れるように、個々の状態に応じた支援と良質なサービスの提供をします。</p> <p>③ ご利用者、ご家族、地域を支え、誰でも相談できる窓口となる施設を目指し、情報発信を行うとともに、交流の中心場になるよう努めていきます。</p>

2. 重点目標

重点目標	なじみのある地域の中で、安心した生活を継続して送れるよう支援します。
年 度 目 標	
①	日々変化する心身の状態や生活状況に、柔軟に対応し、適切なサービスの提供を行います。
②	これまでのご利用者が培った生活習慣を継続し、できることを最大限に生かした、生きがい生まれる支援に努めます。
③	ご利用者、ご家族との顔が見える関係、環境を作り、ご利用者に適した地域と途切れない良質なサービス提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者を中心とし、ご家族、地域の方々、施設が互いに連携し、在宅生活を支えることができる体制、環境を作ります。

重点目標	小規模多機能型居宅介護の役割を遂行し、特色を活かした支援で、利用される方々（ご利用者、ご家族）の生活を支えます。
年 度 目 標	
①	3つのサービスを柔軟に組み合わせ、常時登録者 29 名を目指し、登録されているご利用者、ご家族が安心して生活を送れるよう支えていきます。
②	小規模多機能型居宅介護を利用しながら、ご利用者、ご家族の意向を把握し、入所へのルートを伝え、心身の状態に応じた施設への入所等、先を見た支援を行います。
③	介護サービスを利用されていない方々が安心してサービスを利用できるように地域へ出向き、新たにご利用者の受け入れを行い、自宅と施設の中間的役割を担います。
中 長 期 目 標	
①	小規模多機能型居宅介護を、介護サービスの入り口と考え、丹原町や旧東予市内における在宅サービス事業所の拠点となり、在宅生活を支援します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の中の団欒の場となり、情報発信を行い、積極的に交流を図ります。
年 度 目 標	
①	広報活動で苑内行事を知らせ、来苑しやすい環境を作るとともに、多種の新規ボランティアの受け入れや積極的な地域行事へ参加により、地域との関係作りに努めます。
②	運営推進会議を利用し、苑での活動や情報を発信し、ご家族、地域の方々等の相談等、情報交換を図ります。
③	散歩等の外出活動を通じて、交流を図り、挨拶や声掛け等行い顔なじみの関係作りに努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域資源の一つとしていつでも誰でも気軽に立ち寄り、憩いの場、相談の窓口になるよう体制、環境を整えます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	運営推進会議 花見	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う ・季節感を味わって頂く為、花見を行う 	おやつ代 (実費)
5月	避難訓練 (火災、風水害) 新緑狩り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行う ・季節感を味わって頂く為、山間部へ行き景色を楽しむ 	おやつ代 (実費) 500円
6月	運営推進会議 紫陽花見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う ・季節感を味わって頂く為紫陽花の鑑賞を行う 	おやつ代 (実費) 500円
7月	七夕 亀天荘盆踊り	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾りを作成し苑内に飾る ・亀天荘盆踊りに参加する 	3000円
8月	運営推進会議 七夕飾り見学 水陽苑夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う ・丹原商店街に飾られる七夕飾りを見学する ・縁日のような雰囲気を楽しんで頂く為に、苑内に屋台を設置し、ご家族、地域の方々にも声をかけ夏祭りを行う 	500円 5,000円
9月	敬老会 運動会見学 (周辺保育園、小学校) 避難訓練 (地震)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、地域の方々等に参加して頂き、苑内にて敬老会を行う ・小学校の運動会を見学する ・ご利用者、ご家族、地域の方々等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行う 	3,000円 500円

月	行事名	内容	予算
10月	運営推進会議	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う	2,000円 3,000円
	運動会	・苑内にてご利用者の状態に合わせた運動を取り入れた運動会を行う	
	神輿、獅子舞 見学	・獅子舞、神輿を見学する	
11月	避難訓練 (火災、風水害)	・ご利用者、ご家族、地域の方々等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行う	3,000円
	文化祭	・地域の公民館や学校の文化祭へ参加し地域交流を図る ・ご家族、地域の方々にも来苑して頂き、ご利用者の作品、職員の作品を飾り文化祭を行う	
12月	運営推進会議	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う	3,000円
	クリスマス会	・登録者ご家族、地域の方々等参加して頂き、苑内にてクリスマス会を行う	
	餅つき	・お正月の飾りを作成する	5,000円
	お正月飾り作り	・餅つきを行い正月の準備を行う	
1月	初詣	・近隣神社へ初詣に行く	賽銭 145円(5円×29名分) 500円(ガソリン代)
2月	運営推進会議	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う	300円
	節分	・季節感を味わって頂く為、苑内にて節分を行う	
3月	ひな祭り	・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行う	おやつ代 (実費)

4. 研修計画

重点目標	基礎となる知識、技術を身に付け、臨機応変な対応ができるよう積極的に研修に参加します。
年 度 目 標	
①	基本的な知識、技術を習得し、各自の役割を理解し、様々な状態のご利用者受け入れ、適切な対応が行える体制作りに努めます。
②	定期的な勉強会を実施し、職員個々のスキル向上に努めます。
③	外部研修への参加を積極的に行い、習得した知識、技術を職員全体で共有し、サービスの質の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	個々の能力に合わせ（適材適所）、助け合い、チームワークを大切にしながら、楽しんで働くことができる環境作りに努めます。また、介護・福祉に係る資格取得を促し、専門性を高め、指導者の育成を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について	ご利用者、ご家族はもちろん、来客者に対する丁寧な言葉使い、礼儀や外線の対応等の基本を学ぶ	全職員
5月	介護技術について	移乗、食事、入浴だけに関わらず、介護上必要な技術について学ぶ	全職員
6月	食中毒予防について	食中毒についての知識を持ち、マニュアルに沿って未然に防ぐ為の適切な方法を学ぶ	全職員
7月	緊急時の対応について	緊急時の対応について学び、適切な対応ができる知識、技術を身に着けるとともに、異常の早期発見、対応の重要性を学ぶ	全職員
8月	介護に必要な医学的知識について	気づく力を向上し、血圧や体温についての適切な数値や個々に合った数値等を理解し、異常の早期発見、早期対応につながるよう学ぶ	全職員

月	項目	内容	参加者
9月	防災・防犯対策について	防災、防犯対策について個々の役割を理解し、緊急時に適切に行動できるよう学ぶ	全職員
10月	事故対策・リスクマネジメントについて	事故の背景を知り、未然に防ぐよう危険予測の意識を高める。又、ヒヤリハットから抽出される要因を分析し、個々のリスクについて学ぶ	全職員
11月	感染対策について	日頃から危機感を持ち、感染を未然に防ぐ為の知識を得るとともに、感染時の拡大防止の為の適切な処理の方法を学ぶ	全職員
12月	プライバシー保護について	知り得た情報を漏洩しないように個人情報等の保護についての知識を得る	全職員
1月	認知症ケアについて	具体的事例を挙げ、様々な症状がある認知症についての基礎や対応について学ぶ	全職員
2月	身体拘束・虐待について	身体拘束、虐待について学び、目に見えるものだけでなく、言動等による身体拘束や虐待につながるものを知り、個々に合った適切な対応を学ぶ	全職員
3月	ケアプランについて	個々のケアプランの意味を理解し、適切なサービス提供につなげ、記録の重要性について学ぶ	全職員

事業所名 : 特別養護老人ホーム 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	認知症の方や身体介護が必要な方など、地域で生活されているご利用者の方を幅広く受け入れ、様々なニーズに対応できるよう、認知症への理解や介護技術の向上、医療機関との連携、地域に根差した介護福祉施設の3点を重視した事業運営を致します。
運営方針	<p>① ご利用者の全体像を把握し作成した介護計画を基に、ご本人とご家族の意向を反映した個別ケアを実施していきます。</p> <p>② 中重度化するご利用者へ幅広いサービスの提供ができるよう、職員の資質向上に努めます。また、医療機関との連携を密に行い、ご利用者に安心・安全を提供いたします。</p> <p>③ 地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。</p> <p>④ 法人が実施する旧西条地区のサービス提供において中心的な働きを担い、お客様への十分なサービス提供が出来るように各事業所との連携を強化します。</p>

2. 重点目標

重点目標	特養へのニーズの高まりに柔軟に対応するとともに、近隣の事業所との連携をはかり、地域の要介護、要支援者の受け入れを行っていきます。
年 度 目 標	
①	年間稼働率 96%を目指します。
②	特養への入所を希望される方も多く、スムーズな入退所が行えるよう退所時の相談支援、入所待機者の把握を行い空床日数の削減に努めます。
③	旧西条地域の事業所で連携し、入所申し込み者や照会を頂いた方、介護の必要性のある地域ご利用者に対し、状態に応じた事業所サービスの提供を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	施設近隣の住民や介護を必要とするご利用者が、どのような介護状態になっても住み慣れた旧西条地域で生活し続けていけるよう、地域密着型の施設の特徴を生かしたサービスを切れ目なく提供します。

重点目標	感染症の予防や褥瘡予防に努めるとともに、ご利用者の日々の状態を把握し、異常の早期発見、協力医療機関との連携の強化を行い安定した生活が送れるように支援いたします。
年 度 目 標	
①	日々のバイタルや栄養状態を把握し、異常の早期発見に努めます。
②	感染症予防や褥瘡予防に対する知識を深め、適切な処遇が行えるよう多職種が協働して支援計画の作成を行います。
③	主治医、協力医療機関へ日頃のご利用者の状態を随時報告し、異常時はすぐに受入れてもらえる環境づくりを行います。
中 長 期 目 標	
①	早期の発見と受診を行うことで、入院を少なく、施設で安定的な生活を送れるよう支援していきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の催事に積極的に参加するとともに、地域の皆様にも施設へ来苑して頂き、地域と施設の交流を積極的に図ります。
年 度 目 標	
①	地域の防災訓練への参加や施設での避難訓練に地域住民を招き、日頃から地域と施設の共助の関係作りに努めます。
②	運営推進会議を近隣の関係施設と共に開催することで、今までよりも広域の住民にも参加して頂き、施設への理解を促します。
③	ボランティアの受入れを積極的に行い、開かれた施設運営を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	誰もが知る存在となる様、地域での施設の知名度を上げ、地域の社会資源として、地域住民に気軽に利用して頂けるような施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見	桜の花の名所をまわり見学する	無料
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	無料

月	行事名	内容	予算
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	無料
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、そうめん流しを実施	10,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で地域の皆様とともに夕涼みを行う	2,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく	無料
10月	西条祭り見学	西条祭りを見学する	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	無料
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ ご利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ	1,500円 1,500円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝う	50円
2月	梅見学	梅の花のきれいな名所をまわり見学する	無料
3月	おやつイベント	管理栄養士が企画し、バイキング方式でご利用者におやつを提供する	無料

4. 研修計画

重点目標	積極的に外部研修に参加し、最新の技術や情報を得るとともに、内部研修において、職員間の情報共有を促し、施設職員の質の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	看取りや緊急時の対応に関する研修を定期的で開催し、重度化するご利用者へ迅速に対応できる体制づくりに努めます。
②	身体拘束廃止や虐待防止に関する意識を高め、高齢者の意思を尊重した日常生活の支援に努めます。
③	職員個々の能力を向上させるため、介護福祉士や介護支援専門員等の資格取得を促進します。
中 長 期 目 標	
①	介護の専門職として、技術、知識共にすぐれた人材の育成を目指します。また同時に、様々な場面での迅速な対応ができる職員の育成に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	感染予防について	食中毒とその予防策について	全職員
5月	虐待予防について	高齢者虐待の現状について	全職員
6月	褥瘡予防について	褥瘡発生の原因及び対応策	全職員
7月	事故防止について	事件事例の検証及び防止策の検討	全職員
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止への意識の強化	全職員
9月	看取りについて	人の死について	全職員
10月	感染予防について	マニュアルの理解及び感染症対策について	全職員
11月	防災について	防災訓練	全職員
12月	虐待防止について	身体拘束との関係性について	全職員
1月	褥瘡予防について	褥瘡の発生状況と今後の対応、予防策について	全職員
2月	事故防止について	事故の検証及び対策の検討	全職員
3月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止について	全職員

事業所名 : 指定短期入所生活介護事業所 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	認知症の方や身体介護が必要な方など、地域で生活されているご利用者の方を幅広く受け入れ、様々なニーズに対応できるよう、認知症への理解や介護技術の向上、医療機関との連携を深め、地域に根差した介護福祉施設の3点を重視した事業運営を行います。
運営方針	<p>① ご本人とご家族の意向を把握し、在宅生活と施設サービスが連動して切れ目のないご利用者支援を実施していきます。</p> <p>② 介護の必要な方へ幅広いサービスの提供ができるよう、職員の資質向上に努めます。</p> <p>③ 地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	社会資源としての役割を認識し、たくさんのご利用者に施設サービスをご利用いただけるよう、各職種が協働でご利用者の個別支援を行います。
年 度 目 標	
①	地域の社会資源としての役割を果たすため、居宅介護支援事業所と連携し、年間稼働率 90%を目指し、地域の要支援、要介護者の受入れを積極的に行っていきます。
②	中重度者の利用ニーズが増しているため、医療機関との連携を強化します。また、機能訓練や栄養管理についても、各専門職が連動したプランを作成し、他職種協働でご利用者の総合的な支援を行います。
③	定期的に自宅を訪問し、在宅での生活状況を把握するとともに、ご利用者、ご家族の要望をその都度確認し、施設サービス利用時の生活と在宅生活との間に質的な差が生じないように、サービスの提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者、ご家族と施設の信頼関係のもと、在宅と施設の切れ目のない双方のご利用者支援への取り組みを実現させ、在宅でのご利用者やご家族の生活をゆとりのある穏やかなものにしていきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の催事に積極的に参加するとともに、地域の皆様にも施設へ来苑して頂き、地域と施設の交流を積極的に図ります。
年 度 目 標	
①	地域の防災訓練への参加や施設での避難訓練に地域住民を招き、日頃から地域と施設の共助の関係作りに努めます。
②	運営推進会議を近隣の関係施設と共に開催することで、今までよりも広域の住民にも参加して頂き、施設への理解を促します。
③	ボランティアの受入れを積極的に行い開かれた施設運営を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	地域での施設の知名度を上げ、誰もが知る存在となり地域の社会資源として、地域住民に気軽に利用して頂けるような施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見	桜の花の名所をまわり見学する	無料
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	無料
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	無料
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、そうめん流しを実施	10,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で地域の皆様とともに夕涼みを行う	2,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく	無料
10月	西条祭り見学	西条祭りを見学する	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	無料
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ 利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ	1,500円 1,500円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝う	50円

月	行事名	内容	予算
2月	梅見学	梅の花のきれいな名所をまわり見学する	無料
3月	おやつイベント	管理栄養士が企画し、バイキング方式でご利用者におやつを提供する。	無料

4. 研修計画

重点目標	積極的に外部研修に参加し、最新の技術や情報を得るとともに、内部研修において、職員間の情報共有を促し、施設職員の質の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	看取りや緊急時の対応に関する研修を定期的で開催し、重度化するご利用者へ迅速に対応できる体制づくりに努めます。
②	身体拘束廃止や虐待防止に関する意識を高め、高齢者の意思を尊重した日常生活の支援に努めます。
③	職員個々の能力を向上させるため、介護福祉士や介護支援専門員等の資格取得を促します。
中 長 期 目 標	
①	介護の専門職として、技術、知識共にすぐれた人材の育成を行います。また、様々な場面での迅速な対応ができる職員の育成に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	感染予防について	食中毒とその予防策について	全職員
5月	虐待予防について	高齢者虐待の現状について	全職員
6月	褥瘡予防について	褥瘡発生の原因及び対応策	全職員
7月	事故防止について	事件事例の検証及び防止策の検討	全職員
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止への意識の強化	全職員
9月	看取りについて	人の死について	全職員
10月	感染予防について	マニュアルの理解及び感染症対策について	全職員

月	項目	内容	参加者
11月	防災について	防災訓練	全職員
12月	虐待防止について	身体拘束との関係性について	全職員
1月	褥瘡予防について	褥瘡の発生状況と今後の対応、 予防策について	全職員
2月	事故防止について	事故の検証及び対策の検討	全職員
3月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止について	全職員

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	笑顔、真心、自分色
運営方針	<p>① ご利用者・ご家族・職員みんなの笑顔あふれる雰囲気づくりに努めます。</p> <p>② 思いやりと感謝の気持ちを忘れず、心のこもったサービスを提供します。</p> <p>③ ご利用者がこれまで歩まれてきた人生を大切に、その方らしい暮らしができるようにサポートします。</p> <p>④ 小規模多機能型居宅介護を利用しながら、ご利用者、ご家族の意向を把握し、入所へのルート伝え、心身の状態に応じた施設への入所等、先を見た支援を行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	地域での施設の知名度を上げ、地域住民に安心して施設を利用して頂けるように努めます。
年 度 目 標	
①	登録者 20 名を目標に運営活動を行います。
②	地域へ出向き、地域住民や福祉事業所に小規模多機能型居宅介護 大師苑を知って頂き、安心して施設を利用して頂けるように努めます。
③	ご利用者に十分なサービスを提供できるよう、職員の基準人員の確保を行うと共に、専門的な知識を身につけ、質の高いサービスの提供を目指します。
中 長 期 目 標	
①	旧西条地区の介護サービスの入り口となり、グループホームや特別養護老人ホームと連携してご利用者の在宅生活を支援します。

重点目標	住み慣れた地域で、在宅生活を継続できるよう、切れ目のないサービスを提供していきます。
年 度 目 標	
①	訪問を中心に通所や泊りのサービスを組み合わせ、ご利用者、ご家族が安心して在宅で生活を送れるよう支援していきます。
②	ご利用者の生活歴や生活習慣を把握し、できることを活かした自立に向けた支援を行います。
③	多職種が協働してケアプランの検討を行い、地域の社会資源を活用した生活支援を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者を中心に、施設とご家族が連携して在宅生活を支えることができる環境、体制作りを行います。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の催事に積極的に参加するとともに、地域の皆様にも施設へ来苑して頂き、地域と施設の交流を積極的に図ります。
年 度 目 標	
①	地域の防災訓練への参加や、施設での避難訓練に地域住民を招き、日頃から地域と施設の共助の関係作りに努めます。
②	運営推進会議を近隣の関係施設と共に開催することで、今までよりも広域の住民にも参加して頂き、施設への理解を促します。
③	ボランティアの受入れを積極的に行い、開かれた施設運営を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	地域での施設の知名度を上げ、誰もが知る存在となり、地域の社会資源として、地域住民に気軽に利用して頂けるような施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見	桜の花の名所をまわり見学する	無料
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	無料
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	無料

月	行事名	内容	予算
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、そうめん流しを実施	10,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で地域の皆様とともに夕涼みを行う	2,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく。	無料
10月	西条祭り見学	西条祭りを見学する。	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	無料
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ。 利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ。	1,500円 1,500円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝う。	50円
2月	梅見学	梅の花のきれいな名所をまわり見学する。	無料
3月	おやつイベント	管理栄養士が企画し、バイキング方式でご利用者におやつを提供する。	無料

4. 研修計画

重点目標	積極的に外部研修に参加し、最新の技術や情報を得るとともに、内部研修において、職員間の情報共有を促し、施設職員の質の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	看取りや緊急時の対応に関する研修を定期的で開催し、重度化するご利用者へ迅速に対応できる体制づくりに努めます。
②	身体拘束廃止や虐待防止に関する意識を高め、高齢者の意思を尊重した日常生活の支援に努めます。
③	職員個々の能力を向上させるため、介護福祉士や介護支援専門員等の資格取得を促します。
中 長 期 目 標	
①	介護の専門職として、技術、知識共にすぐれた人材の育成を行います。また、様々な場面での迅速な対応ができる職員の育成に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	感染予防について	食中毒とその予防策について	全職員
5月	虐待予防について	高齢者虐待の現状について	全職員
6月	褥瘡予防について	褥瘡発生の原因及び対応策	全職員
7月	事故防止について	事件事例の検証及び防止策の検討	全職員
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止への意識の強化	全職員
9月	看取りについて	人の死について	全職員
10月	感染予防について	マニュアルの理解及び感染症対策について	全職員
11月	防災について	防災訓練	全職員
12月	虐待防止について	身体拘束との関係性について	全職員
1月	褥瘡予防について	褥瘡の発生状況と今後の対応、予防策について	全職員
2月	事故防止について	事故の検証及び対策の検討	全職員
3月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止について	全職員

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護施設 芳苑

1. 理念・基本方針

運営理念	住み慣れた地域でご利用者が望む暮らしを支えられるよう支援してまいります。
運営方針	<p>① これまでの暮らしと、ご利用者を「つむぐ」支援を行います。</p> <p>② ご利用者の役割や生きがいを創出できるよう支援してまいります。</p> <p>③ ご利用者、ご家族、地域との関係が円滑になるように「つなぎ役」としての役割を果たしてまいります。</p> <p>④ 介護の専門性を高め、ご利用者に質の高いサービス提供を行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	たくさんの方に利用して頂き、「利用して良かった」という高い満足度を得られる施設を目指します。
年 度 目 標	
①	介護施設や事業所、包括支援センター、医療機関等、定期的に訪問を行い、情報の提供や共有を図ることで利用者獲得に努めます。
②	日頃から、ご利用者やご家族、地域との方々との関わりを大切にし、困ったときには気軽に相談に来て頂ける関係作りに努めます。
③	ご利用者の尊厳を第一に考え、その能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう支援し、満足度の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	登録者数 29 名を目指します。

重点目標	ご利用者個々の生活を大切にし、小規模の特性を活かした柔軟なサービスを行い、ご利用者が望む生活を支援していきます。
年 度 目 標	
①	ご利用者をよく知るために、アセスメントをしっかりと記録し、それを基にその人らしい個別援助計画を作成し、実践していきます。
②	日々、ご利用者の発言や行動を注意深く観察し、気づいた事をミーティング等で共有し、職員間の連携を図ることで、居心地の良い環境作りに努めます。
③	ご利用者、ご家族の要望に迅速に対応し、柔軟なサービス提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	地域住民から頼りにされる福祉の拠点となります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	ご利用者が地域で安心して暮らせるように協力し合います。
年 度 目 標	
①	キャラバンメイトとなり、地域に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを増やす活動を行います。
②	地域行事や公民館活動等を積極的に活用し、交流を深めます。
③	運営推進会議には、たくさんの方に出席して頂くように準備し、地域の方々との情報交換を図ります。
中 長 期 目 標	
①	認知症にやさしい、住みやすい街作りに貢献します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	運営推進会議 桜花見	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・桜の名所（実報寺、朝倉等）へ出かける。 	500円
5月	避難訓練 藤見学 運動会見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行う。 ・喜多台公園に出かける。 ・小学校の運動会を見学する。 	500円
6月	運営推進会議 紫陽花ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・あじさいロードに出かける。 	500円
7月	盆踊り大会	亀天荘盆踊り大会をご利用者、ご家族、地域住民と参加する。	
8月	運営推進会議 七夕	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・七夕飾りを作成し苑内に飾り、丹原商店街に出かける。 	3,000円
9月	敬老会	<ul style="list-style-type: none"> ・特養主催の合同敬老会に参加させて頂き、演芸会を見学する。職員による出し物も披露する。 	3,000円
10月	運営推進会議 運動会 神輿、獅子舞見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・デイサービス亀天荘の運動会に参加する。 ・子供御輿、上市の獅子舞を見学する。 	3,000円
11月	避難訓練 文化祭 紅葉ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行う。 ・地域の文化祭に参加し地域交流を図る。 ・西山興隆寺へ出かける。 	実費 500円

月	行事名	内容	予算
12月	運営推進会議 発表会	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・苑内にてご利用者、職員、ボランティア等による特技や演奏等を披露する。	3,000円
1月	初詣	・なじみの神社へ初詣に出かける。	実費
2月	運営推進会議 梅花見	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行う。 ・網敷天満宮へ出かける。	500円
3月	ひな祭り	・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行う。	1,000円
毎月	誕生日会	誕生日のお祝い	4,500円
随時	他事業所との交流	法人内事業所とのご利用者との交流	
随時	ボランティア	地域の方による慰問の受け入れ	2,400円
随時	子供たちとの交流	保育所や小学生など、子供たちと交流	10,000円

*地域貢献活動として、雑巾作りや、新聞紙で芋掘り用のバックを作り、保育所や小学校に寄贈したいと思います。

4. 研修計画

重点目標	介護のプロとしての意識を持ち、知識、技術の習得に努めます。
年 度 目 標	
①	日々、専門職として知識の習得に努め、得た知識は他の職員と共有し、仕事に生かします。
②	知識や技術を身に付け、ヒヤリハットを積極的に活用し、未然に事故や怪我を防ぎます。
③	知識や技術を身に付けることで、日々の仕事に疑問を持ち、全体の業務改善につながる工夫が出来るようになります。
中 長 期 目 標	
①	地域の方やご家族から「さすが亀天荘の職員」と言われるように、知識や技術はもちろんの事、人間的に成長することを目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	小規模多機能施設とは	内部研修	全職員
4月	交通安全研修・運転心得	西条警察署指導	全職員
5月	接遇について	内部研修	全職員
6月	役割について	内部研修	全職員
6月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
7月	認知症を理解する	内部研修	全職員
8月	口腔ケアについて	内部研修	全職員
8月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
8月	介護技術向上講習会	愛媛県主催	介護1名
9月	リスクマネジメントについて	内部研修	全職員
10月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
10月	レクリエーションについて	内部研修	全職員
11月	感染症について	内部研修	全職員
12月	感染症について	内部研修	全職員
12月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
1月	身体拘束・虐待について	内部研修	全職員
1月	介護技術向上講習会	愛媛県主催	介護1名
2月	非常災害について	内部研修	全職員
3月	振り返りと目標共有	内部研修	全職員

事業所名 : グループホーム竹梅小路

1. 理念・基本方針

運営理念	一人一人を大切に 和を大切に
運営方針	<p>① ご利用者一人一人に寄り添い、その人らしい暮らしを送ることができるように支援します。</p> <p>② 職員一人一人が竹梅小路というチームの一員であることを自覚した上で、自分の個性を活かしながら働き、成長できる環境を作ります。</p> <p>③ ご家族や地域の方が気軽に立ち寄ることができ、竹梅小路もどンドン地域に出ていくような、地域の中に溶け込んだ施設を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者一人一人が自分らしい生活を送ることができ、心身ともに安心できる環境を提供するユニットケアを目指します。
年 度 目 標	
①	アセスメントを充実させ、ご利用者それぞれの色が見えるケアプランを作成し、それをもとにチームで統一したケアの提供を行います。
②	医療機関や看護師と連携し、ご利用者の体調面の管理や把握、ケアを充実させることで、ご利用者が自分らしく元気に過ごせる期間が少しでも長くなるように支援します。
③	ユニット会やミーティング、個別面談を通して、ユニット職員間の風通しをよくし、チームとしての団結力を強化することで、統一したユニットケアを目指します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者一人一人のケアプランの中に「自分の役割」を入れることで、自分の存在意義を感じることができるケアを目指します。

重点目標	長期の入院につながるような介護事故の予防に努め、ご利用者のQOLを維持するとともに、稼働率の維持に努めます。
年 度 目 標	
①	ヒヤリハット報告書の件数が事故報告書の件数よりも上回るようにし、早い段階で危険因子を把握し取り除くことで大きな事故を防ぎます。
②	事故後のミーティングで今後の対応策を話し合い、チームで実行することで再発を防止します。
③	事故防止の意識の行き過ぎによる抑制を防ぐために、身体拘束廃止委員会を3か月に1回実施し、定期的に職員研修も行うことで、ご利用者の意思の尊重と事故防止両方の実現に努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者のADLを向上、またはできる限り維持できるように支援し、その人らしい生活の実現を目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	「地域に出ていく」「地域から来ていただく」ことの両方を実現することで、地域から信頼され、地域の中に溶け込んだ事業所を目指します。
年 度 目 標	
①	一番身近な地域であるご家族との信頼関係を築くために、毎月の手紙の内容の充実を図ります。また、有事の際だけでなくこまめにご利用者の状態をお伝えし、安心感を持っていただきます。また、ご利用者と一緒に参加していただける行事を企画します。
②	月に一度は外出行事を企画し、地域資源を活用した支援を行います。
③	ボランティアの受入れを積極的に行い開かれた施設運営を行います。
中 長 期 目 標	
①	毎年、ご家族以外の地域の方も参加していただける行事を企画、運営することで、地域資源の一つとしての竹梅小路の役割を果たせるようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見	桜の花の名所をまわり見学する	300円
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	300円
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	300円
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、七夕祭りの雰囲気を楽しむ	2,000円
8月	納涼祭	駐車場にて西条市の花火大会を見学し、夕涼みを楽しむ	200円
9月	敬老会	ボランティアや職員の出し物を楽しんでいただき、長寿のお祝いをする	1500円
10月	西条祭り見学	苑内や西条高校前にて西条祭りを見学する。	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	300円
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ。 ご利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ。	5,500円 1,500円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年のお祝いをする。	90円
2月	節分 梅見学	豆まきを行い、節分の雰囲気を楽しむ 梅の花のきれいな名所をまわり見学する。	無料 500円
3月	ひなまつり	みんなでひな祭りをお祝いし、季節感を味わう	300円

*お誕生日の方がいらっしゃる月については都度お誕生日会を行う

4. 研修計画

重点目標	定期的に行う内部研修の他に、外部研修にも積極的に参加します。それにより職員の知識や技術の向上を図り、資格取得の支援も行います。
年 度 目 標	
①	外部の研修に参加する職員を増やし、研修で学んだことを全員で共有することで、職員全体の質の向上を図ります。
②	介護福祉士やケアマネージャー、認知症実践者研修等の資格取得者を増やします。
③	内部研修では職員全員が持ち回りで講師を担当することで、自分から学ぼうとする環境を作ります。
中 長 期 目 標	
①	専門的な認知症ケアに関する知識を有し、実践できる職員を増やし、ユニットケアのレベルの向上を図ります。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について	<ul style="list-style-type: none"> 相手によい印象を与える電話対応や接客の方法 職員間のコミュニケーションを見直す 	全職員
5月	虐待防止・身体拘束廃止について	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者介護の場面で起こりうる虐待や身体拘束とその予防策について考える 	全職員
6月	感染症対策について	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒とその予防策について学び、実践できるようにする 	全職員
7月	事故防止について	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で起こった事故やヒヤリハットについての分析 事故防止の対策と事故が起こった時の対応を考える 	全職員
8月	認知症ケアについて	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての基本的な知識を身につける ご利用者の立場に立った認知症ケアを考える 	全職員

月	項目	内容	参加者
9月	レクリエーションについて	・楽しみを持つことの大切さを理解し、それを実現するためにどうするかを考える	全職員
10月	防災について	・防災マニュアルの内容を理解し、緊急時に行動できるようにする	全職員
11月	感染症対策について	・インフルエンザ、ノロウイルスについての基本を押さえ、感染症対策について学ぶ	全職員
12月	口腔ケアについて	・口腔内衛生を保つことの大切さを知る ・正しい口腔ケアの方法を学ぶ	全職員
1月	介護技術について	・ご利用者と職員ともに安全で負担にならない身体介護の方法を学び、実践できるようにする	全職員
2月	虐待防止・身体拘束廃止について	・高齢者介護の場面で起こりうる虐待や身体拘束とその予防策について考える	全職員
3月	ケアプランについて	・ご利用者お一人お一人にあったケアプランを作成し、ケアに反映させるための方法を考える	全職員

事業所名 : 春日鍼灸院

1. 理念・基本方針

運営理念	一人一人にあった治療と、安全で適切でいたわりのある対応を行い、かかわる全ての人の健康維持と生活の質の向上に努めます。
運営方針	<p>① 人の痛みや苦しみを理解し、「寄り添う治療」を行う鍼灸師を目指します。</p> <p>② 原因と症状を的確に把握し、あらゆる知識、角度から検討し、その人に合った最良の治療ができるように努めます。</p> <p>③ 東洋医学のみだけでなく西洋医学、社会福祉等幅広い知識、技術の習得に努め、より安全で適切な治療を目指します。</p> <p>④ ご利用者や地域の方々との交流を通じて、鍼灸について理解を深めて頂き、皆様に鍼灸を身近に感じてもらえるよう努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	鍼灸院での治療と共に機能訓練指導員としても従事し、ご利用者のQOL向上に努めます。
年 度 目 標	
①	機能訓練指導員としての技術、知識を身につけます。
②	機能訓練の中でQOLの向上に努めると共に鍼灸、東洋医学の普及にも努めます。
③	事業所職員にも東洋医学、鍼灸に対する知識を深められるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	三年を目標に機能訓練が特徴となるようなデイサービスを目指し、多くのご利用者、ご家族に鍼灸院、デイサービスの両方を利用していただけるよう努めます。

重点目標	衛生安全面を徹底し、治療とともに予防にも努めます。
年 度 目 標	
①	外来、ご利用者の体調、状況を把握し刺激過多や判断の誤りをしないよう努めます。
②	感染対策と事故防止の徹底を行い、安全で適切な治療を心掛けます。
③	治療やQOLの改善だけでなく予防や生活指導の面も考え、治療、機能訓練を行います。
中 長 期 目 標	
①	医療機関との連携も考え、治療、業務遂行基準の作成、改善を進めていきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	施設内での業務や、周辺施設、事業所でのツボ体操教室の中で、ご利用者やご家族の健康に対して高い意識をもっていただけるよう努めます。
年 度 目 標	
①	自身で行えるツボ刺激や体操等、セルフケアを日々の生活の中で取り入れていただけるよう努めます。
②	ご利用者のご家族や地域の方とのコミュニケーションを積極的に行い、鍼灸院と鍼灸の認知に努めます。
中 長 期 目 標	
①	やいと（お灸）を中心に養生法の一つとして鍼灸が地域に根付くよう努めます。

4. 研修計画

重点目標	鍼灸だけでなく、介護、機能訓練についての研修の参加や、勉強を積極的に行い、知識、技術の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	機能訓練関連の勉強会、研修会に積極的に参加します。
②	介護支援専門員等の鍼灸以外の医療、福祉の資格取得を目標の勉強にも努めます。
中 長 期 目 標	
①	介護支援専門員の資格取得と鍼灸、機能訓練の知識、技術向上に努め、外来、ご利用者を色々な視点から包括的に担当できるような職員を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
主に隔月 末日曜	愛媛県鍼灸師会主催 の勉強会	講師を招いて鍼灸技術と知識 向上の為の講習	岩切